

# 【特典】

初めてピアノを弾く子どもへの教え方

# 指番号と鍵盤の 位置の教え方



※対象年齢:小学1年生

## ■ はじめに

このレポートの利用に際しては、以下の条件を遵守してください。

このレポートに含まれる一切の内容に関する著作権は、レポート作成者に帰属し、日本の著作権法や国際条約などで保護されています。

著作権法上、認められた場合を除き、著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を、複製、転載、販売、その他の二次利用行為を行うことを禁じます。

これに違反する行為を行った場合には、関係法令に基づき、民事、刑事を問わず法的責任を負うことがあります。

レポート作成者は、このレポートの内容の正確性、安全性、有用性等について、一切の保証を与えるものではありません。また、このレポートに含まれる情報及び内容の利用によって、直接・間接的に生じた損害について一切の責任を負わないものとします。

このレポートの使用に当たっては、以上にご同意いただいた上、ご自身の責任のもとご活用いただきますようお願いいたします。

## ■ 目次

■ はじめに.....	2
■ 鍵盤の教え方.....	4
指番号を教えよう.....	5
鍵盤の位置を教えよう。真ん中の「ド」から！.....	6
音符と鍵盤の位置を一致させよう！.....	7
「レ」や「ミ」を1音ずつバラバラに置いてもらう.....	9
まとめ.....	12

## ■鍵盤の教え方

それでは今から、「指番号と鍵盤の位置の教え方」についてお伝えをしていきたいと思えます。

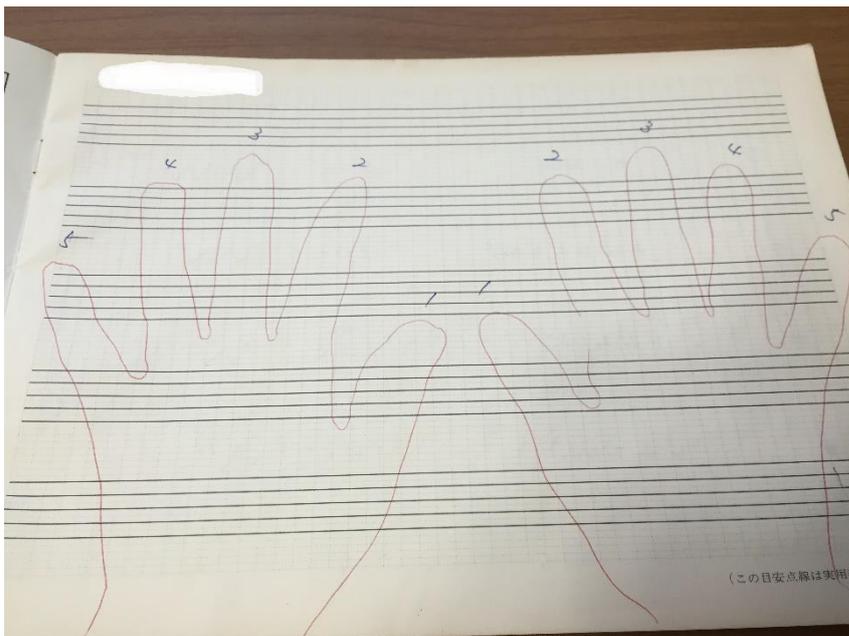
いきなりなのですが、鍵盤の位置だけを覚えてもダメなんです、

ポイントは、**鍵盤の位置を覚え、その鍵盤をどの指で押すかということと同時に教えることなんです**。ここを切り離して、「はい。今は鍵盤の位置だけ覚えよう」とか、「今日は指番号だけ覚えよう」とバラバラに教えてしまうと、横のつながりで覚えられなくなって応用が利かなくなります。必ず横一線で教えていくようにしましょう。

ではどういう順番で教えていくのかを見ていきましょう(\*^-^\*)

## 指番号を教えよう

音楽ノートやA4の紙に、子どもたちの手形を書いてあげて、そこに指番号ふってあげます。自分の手形を見た子どもたちはとっても喜びますし、何よりわかりやすいようです (\*^\_^\*)



また、小学1年生ですと、まだ左右の認識がはっきりしていない子どももいますので、そういう場合は、指番号を書いてあげたあとに、**「左手の2の指は？」**とか、**「右手の3の指は？」**とか声をかけて、一緒に左右の確認をしてあげると良いと思います。

## 鍵盤の位置を教えよう。真ん中の「ド」から！

指番号が覚えられたら、次は真ん中の「ド」の位置を覚えてもらいましょう。

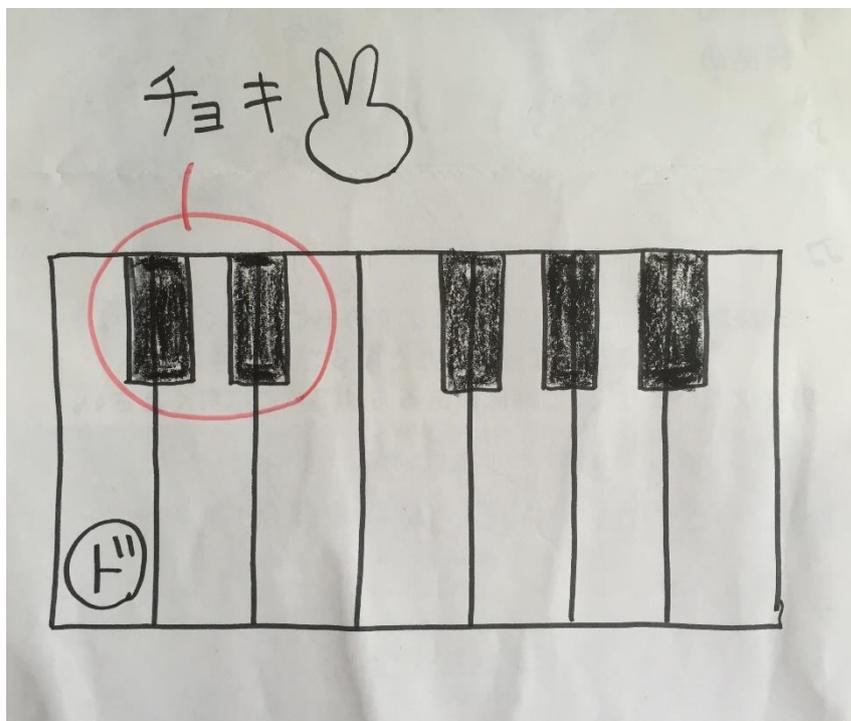
ピアノの鍵盤って88鍵盤もあるので、子どもにとってはかなりビッグサイズです！

そのたくさんある鍵盤の、真ん中の「ド」を探し当てるのって結構難しいんですよね。おそらく小学1年生なら、真ん中の「ド」は知っている子が多いかもしれませんが、知らない子もいるので、このタイミングでしっかり教えていきましょう。

では、真ん中の「ド」の教え方です。

「黒い鍵盤が2つある左下が「ド」だよ。で真ん中の「ド」は、自分がピアノの真ん中に座った時におへそが一番近いドが、真ん中の「ド」なんだよ」と伝えます

※2つの鍵盤のところを「チョキ」と表現するときもあります。



## 音符と鍵盤の位置を一致させよう！

### ①ドレミのおはじきを五線に置く

下の音符マグネットに、黄色のおはじきを置いてもらいます。

音符マグネットに、**先生がお手本を見せてから**、子どもに「ドレミ」を置いてもらいます。



ちなみに音符マグネットを紹介した記事を過去に書きましたので、良かったら参考に見てください。

[ピアノの音符の読み方や鍵盤の位置を教えるのにおすすめのグッズ♪](#)

## ② ミニ鍵盤におはじきを置いてもらう

音符マグネットの下に「ミニ鍵盤」があるので、先生がお手本を見せてから、「ドレミ」を置いてもらいます。



## ③ 実際にピアノで弾いてもらう

それができたら、本物のピアノにマグネットを置いてもらい、実際に弾いてもらいましょう。で、そのときに「ド～レ～ミ～♪」と歌いながら弾いてもらえたら最高です（ソルフェージュをかねた練習にもなるので！）。



## 1音ずつバラバラに置いてもらう

次は、「ドレミ」の塊じゃなくて、「レ」はどこ？「ミ」は？ という風に、1音ずつバラバラに置いてもらいます。

で、できそうだったら、「ミ」や「ファ」などもやってもらいましょう。

今度は先生がお手本を見せることなく、最初から子どもにやってもらいます。

例えば、「レ」の場合をやってみます。



次に、ミニ鍵盤に置いてもらいます。



初めてピアノを弾く子どもへの教え方～指番号と鍵盤の位置の教え方

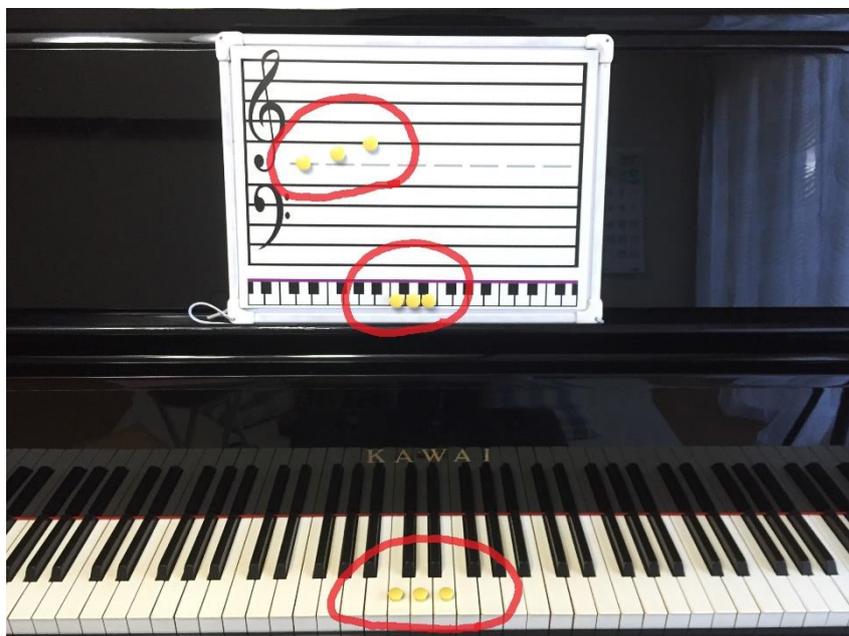
それができたら、本物のピアノに置いてもらいます。



こんな風に、最初は少々くどい(^\_^;)教え方になっちゃいますけど、最初は丁寧に丁寧に教えていきましょう！

そして、**楽譜上の音符→ミニ鍵盤の位置→本物のピアノの位置。**

この3点が頭でつながったらどんどん音符が読めるようになってきます。



レッスンのたびにしつこいぐらいにやったら、音符が覚えられるし、鍵盤の位置も少しずつ分かってきて、音符と鍵盤の位置が頭でつながるようになります。

そのときのレッスンで理解できていても、1週間たったら忘れる子もいるので（汗）、先生が勝手に理解できたと思わずに、子どもが「もう飽きたよ～」と言うまではやらしてみるとかして、ダメ押しで繰り返し教えるのが良いと思います(\*^-^\*)

## まとめ

- ・ 指番号を教える
- ・ 真ん中の「ド」を教える
- ・ ドレミの塊で教える
- ・ ミやファなど、1音ずつバラバラで教える
- ・ 音符と鍵盤の位置が頭でつながるように教える

以上で、「初めてピアノを弾く子どもへの教え方～指番号と鍵盤の位置の教え方」は終わりです。

最後まで読んで下さりありがとうございます m(\_)\_m

◆作成者 スカラー

◆特定商取引法に基づく表記 <http://loopline.shop-pro.jp/?mode=sk>